

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/12/26号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 一時80ドル回復、寒波とロシア産供給不安

NY原油先物相場は、1バレル=79ドル台中盤まで上昇する展開になった。北米の寒波による需要拡大期待に加えて、ロシア産の供給不安を蒸し返す動きがみられる中、安値修正の展開が維持された。株式相場は景気減速懸念、利上げ警戒感に上値を抑えられる展開が続いているが、原油相場は一時80ドル台を回復するなど底固さが目立った。

ロシア産の供給不安が高まっている。Reutersは、バルト海の港を経由した12月のロシア産ウラル原油の輸出量が11月の600万トンから500万トン程度まで減少する見通しを示した。12月5日に西側諸国がロシア産原油取引に上限価格を設定し、更に欧州連合（EU）のロシア産原油禁輸が始まったことで、供給に混乱が生じている模様だ。これまでは西側諸国の制裁でも、中国やインド向け輸出を増やすことで、ロシア産原油供給の大規模な落ち込みは回避できていた。しかし、輸送面での制約が強くなっていることもあり、混乱が生じているとの見方が短期需給ひっ迫感を強めた。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（12月16日時点）は、原油が前週比590万バレル減、ガソリンが253万バレル増、石油精製品が24万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 寒波が続くとじり高の展開に、短期需給引き締めへの信頼感

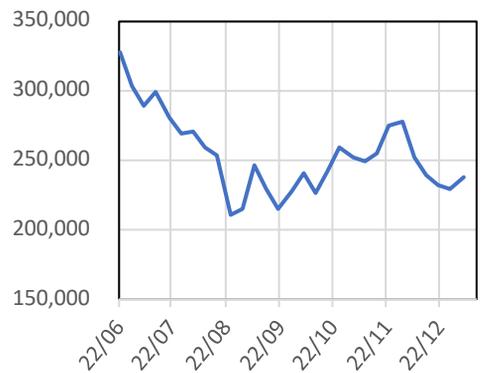
短期需給の引き締めに対する信頼感が回復していることで、年末に向けて80ドル台前半にコアレンジ切り上げが可能かが問われる局面になる。寒波とロシア産供給不安を手掛りに、更に安値修正を進めることが可能かが打診される。特に米原油在庫の取り崩し、株価の下げ止まりといった動きがみられると、地合が引き締め易くなる。

北半球全体で厳しい寒波が報告されており、暖房用エネルギー需要の拡大期待が強くなっている。年末に向けて寒波が続くと、ヒーティングオイル相場主導で上値追いの展開になり易い。天然ガス相場に対しても買いが膨らむと、一段と買い安心感が強まろう。ただし、足元の寒波は米交通網に強いストレスを掛けており、特に航空便の欠航が続くと輸送用エネルギー需要減退懸念が上値を圧迫する可能性があることに注意が必要。

一方、ロシア産の供給不安が急激に高まっていることが、下値をサポートする見通し。西側諸国の取引価格上限設定は大きな影響はないとの見方も強かったが、実際には一定の混乱状況が確認されたことで、短期需給の引き締めが意識され易くなっている。ロシア産の供給環境について更に緊張感を高めるような動きがみられると、買い安心感が強まろう。

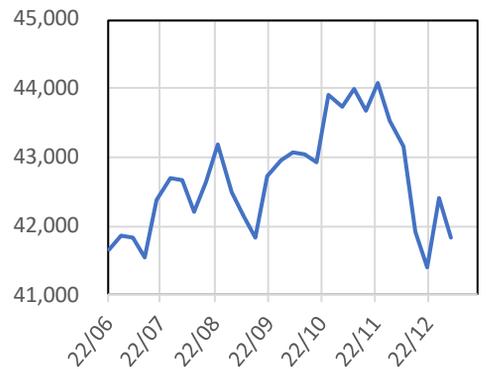
一方、世界経済の減速懸念は維持されており、株価急落といった動きがみられると、連れ安するリスクは残されている。また、年内最後のイベントとして米原油在庫の取り崩しが更に進むかも重要。クリスマスを終えて持高調整が中心の展開になり易いが、2023年に向けてのポジション形成の動きがみられるかにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

